

県産木材の利用促進に関する実施状況について

1 要旨・目的

平成30年10月9日に公布・施行された「広島県県産木材利用促進条例」に基づき、県産木材の利用促進に関する取組を進めており、令和6年度の実施状況についてとりまとめを行った。

2 概要

(1) 実施状況

公共建築物等での木材利用に取り組み、県・市町ともに木造化・木質化が進むとともに、新たに付加価値の高い製品開発や販路拡大などに取り組むことで、県産木材の利用促進が図られた。

ア 公共施設等における利用促進

(ア) 公共建築物の木造化・木質化

県営事業については、木造化・木質化率ともに100%であった。

区分	対象件数	木造化・ 木質化件数	木造化・ 木質化率	木材利用量	うち県産材
木造化	3	3	100%	450 m ³	10 m ³
木質化	6	6	100%	219 m ³	1 m ³

市町営事業については、木造化率62%、木質化率76%であった。

区分	対象件数	木造化・ 木質化件数	木造化・ 木質化率	木材利用量	うち県産材
木造化	26	16	62%	689 m ³	353 m ³
木質化	21	16	76%	241 m ³	38 m ³

注) 木造化の対象件数は、当該建築物に求められる機能等から木造化になじまない等と各事業課等が判断し木造化されなかった建築物を除いた件数。木質化の対象件数は、木造以外の建築物（求められる機能等から内装施工がないものなどを除く）を対象とする。



県営：熊野住宅集会所（木造化）



市営：福山市御野交流館（木造化）

(イ) 公共土木工事等での木材利用

治山事業及び林道事業等における工作物及び仮設資材等に県産材を利用した。

取組名	取組内容	木材利用量	うち県産材
公共土木工事等での県産材の利用	治山事業及び林道事業等において、筋工等の工作物や、工事看板等の仮設資材に県産材を利用した。	86 m ³	75 m ³

(ウ) 備品等での木材利用

県議会の委員会室等における備品に県産材製品を利用した。

取組名	取組内容	利用実績
備品での県産材製品の導入	県議会の委員会室等において、県産材を利用した机及び収納棚を導入	机 75 台、収納棚 2 台



イ 公共施設以外の建築物における利用促進

木造住宅に県産材を利用する取組を支援するとともに、店舗や事務所等の非住宅建築物への県産材利用の促進に取り組んだ。

建築士や施主からの木造化・木質化に関する様々な相談に対応するため、(一社) 広島県木材組合連合会にワンストップの相談窓口を設置した。

取組名	取組内容	県産材利用量等
県産材消費拡大支援事業の実施	住宅等に県産材を利用する取組への助成	25.8 千 m^3
相談窓口の設置	相談窓口を設置し、建築士や施主からの木造化・木質化の相談に対応	62 件

「都市（まち）の木造化推進法」の「建築物木材利用促進協定制度」を活用し、協定を締結した。

協定締結先	締結日等	主な取組内容
公益社団法人広島県建築士会及び一般社団法人広島県木材組合連合会	【協定締結日】 令和 6 年 4 月 23 日 【有効期間】 協定締結日から 令和 10 年 3 月末まで	・ 県建築士会及び県木材組合連合会は協力し、木造建築物の設計・施工に係る技術者の育成等に取り組む。
ライフデザイン・カバヤ株式会社	【協定締結日】 令和 6 年 11 月 18 日 【有効期間】 協定締結日から 令和 10 年 3 月末まで	・ 自社の販売する住宅において、構造材、羽柄材及び内装材に県産材を積極的に活用する。 ・ 県産材を活用したオリジナル家具の開発に取り組む。 ・ 森林資源の循環利用のため、県内の伐採跡地において植林に取り組む。

ウ 新たな用途の開発と販路の拡大

県産材の高付加価値利用につながる新たな製品開発や販路拡大の取組を支援した。

取組名	取組内容	場所
県産材製品の開発を支援	県産材を利用したセキュリティゲートやアロマオイルなど 10 件の製品開発を支援	—

首都圏における県産材製品の展示を支援	東京都主催の木製品展示商談会「WOOD コレクション 2024Plus」に、県内の企業・団体8社が建材、家具等の県産材製品を出展 ○期間：令和6年12月19日～12月20日	東京都（ビッグサイト）
	東京都が運営する木製品展示施設へ、県内の企業2社が、家具等の県産材製品を出展 ○期間：令和6年5月23日～6月18日	東京都（新宿パークタワー内 MOCTION）



エ 木質バイオマスの利活用の促進

地域内で完結する小規模な木質バイオマスの熱利用の取組を支援した。

取組名	取組内容	場所
ひろしまの森づくり事業	里山林整備と併せて木質バイオマスの活用に取り組む団体について、薪や木炭の生産に係る経費を支援	三次市、東広島市

オ 普及啓発

10月の「木材利用促進月間」での記念講演会の開催や、木材利用に関するコンクールへの応募の働きかけ、木材の良さや利用の意義を学ぶ木育活動の支援を行い、県民等への県産材利用の機運醸成に取り組んだ。

区分	取組名	取組内容	場所
県産材に関する情報発信	講演会の開催	「木材利用促進月間」の取組として、（一社）広島県木材組合連合会と協力し、中国地方初となる純木造5階建医療クリニックビルの取組に関する講演会を開催し、約110名が参加	広島市
	ウッドデザイン賞2024受賞 【主催：（一社）日本ウッドデザイン協会】	木の良さや価値を再発見させる製品や取組を表彰する「ウッドデザイン賞」への応募を広く働きかけ、県内から6点が受賞 当該協会が広報・PRの場を提供	
木育の推進	木育イベントの開催	森林・林業や県産材利用の意義等を学び、体験する木育活動を支援し、5市で約6千人が活動に参加	広島市、尾道市、三次市、東広島市、廿日市市



森の未来を守り育て循環させるプロジェクト
(ウッドデザイン賞ソーシャルデザイン部門)



熊野筆とのコラボによる地域材の活用例
(ウッドデザイン賞ハートフルデザイン部門)

カ 人材育成

県内の建築士が中心となり、平成 28 年 7 月に森林林業・木材産業等の関係者により設立した「ひろしま木造建築協議会」と連携して、木造で設計が提案できる人材の育成に取り組んだ。また、「ひろしま木づかい推進協議会」と連携し、大学生を対象に、身近な木材を活かす仕事の魅力の普及啓発に取り組んだ。

取組名	取組内容	場所
木造建築セミナー	木造化を提案できる建築士を育成するためのセミナーを開催した。 ○期日：令和 6 年 9 月 5 日～令和 6 年 12 月 18 日（全 6 回） ○参加者：26 名	広島市、 東広島市、 廿日市市、 安芸太田町
木造建築スクール	木造建築の担い手となる学生に、県産材利用の意義や、木材の特徴、木造設計の基礎などについて学ぶ機会を提供した。 ○期日：令和 6 年 7 月 7 日～令和 6 年 9 月 16 日（全 4 回） ○参加者：12 名（広島大学、広島工業大学、近畿大学、安田女子大学）	広島市、 東広島市
技術研修会	建築士を対象に、ひろしま木造建築協議会の会員が手掛けた木造建築事例を題材として、木造設計を進める上での疑問や課題の解決を探る技術研修会を開催した。 ○期日：令和 6 年 8 月 23 日 ○参加者：27 名	広島市
現地見学会	建築士を対象に、木造建築に関する見識を深めるため、県内の優良な木造建築の現地見学会を開催した。 【黒瀬特別支援学校 構造見学会（東広島市）】 ○期日：令和 6 年 9 月 12 日 ○参加者：10 名	東広島市
学生のための木を活かす仕事体験ツアー	大学生を対象に、身近な木材を活用した家具製作や林業の課題解決に向けた取組等を視察するツアーを開催した。 ○期日：令和 6 年 9 月 4 日 ○参加者：31 名（広島大学、広島工業大学、近畿大学）	庄原市、 三次市



木造建築セミナー（プレカット工場での現地実習）



学生のための木を活かす仕事体験ツアー
(林業現場の視察)

(2) 今後の対応

更なる県産木材の利用促進に向け、次の取組を継続して進める。

- 建築分野では、住宅での取組に加え、住宅以外の建築物での更なる木造化・木質化に向けて、木造で設計が提案できる人材の育成や、木造化・木質化に関する相談窓口を設置するとともに、県産材利用の促進に関する県との協定締結を民間事業者等に働きかける。
- 市町が関わる建築物については、木造化・木質化の促進に向けて、コスト削減や木材調達並びに財源などの情報共有といった内容の研修会を開催し、木造建築に対する市町職員の知見を深める。
- 幅広い分野での県産材需要を創出するため、県産木材利用促進条例に基づき設立した「ひろしま木づかい推進協議会」と連携して、付加価値の高い家具等の県産材製品の開発や販路拡大に取り組む。